## 睡眠薬一覧(内服·外用)

★適応症や用法・用量など最終確認は添付文書でお願いします★

愛媛大学医学部附属病院 薬剤部 薬品情報管理室

院内外採用院外採用

(一般名が採用となっているものは、後発品を採用中です。)

最高血中濃度到達時間、血中濃度半減期は、各添付文書・IFの記載を参考にしておりますが、年齢や体格、 肝・腎機能、併用薬等により大きく変動する場合があります。また、臨床効果と必ずしも相関しないことがあります。

				用となっているものは、後発品を採用中です。) 肝・腎機能、併用薬等(	より大きく変動する 最高血中濃度	場合かめります。	また、臨床効果と必ずしも相関しないことがあります。		
分類 作		作用型	向精神薬	一般名	商品名	先発品の製剤写真の例	到達時間の目安 (hr) ※は活性代謝物を示す	半減期の目安 (hr) ※は活性代謝物を示す	不眠症・睡眠障害に用いる際の用量 用法は就寝前・就寝直前(検査前の催眠の場合を除く)
	非ベンゾジアゼピン系	超短時間作用型	向	ゾルピデム	マイスリー	****	0.7~0.9	1.8~2.3	<b>5∼10mg(適宜増減)</b> ・最大10mgまで ・高齢者は5mgから開始
~			向	ゾピクロン	アモバン	(SPERIO 7.5 PER (\$2.10 PERIO 10) PERIO 7.5 PERIO 7.5   PERIO 10 PERIO 10   2.75 PERIO 7.5 PERIO 52 10 PERIO 10 PE	0.8~1.2	3.7~3.9	7.5~10mg (適宜増減) ・最大10mgまで ・高齢者は3.75mgから開始
				エスゾピクロン	ルネスタ	######################################	0.8~1.5	4.8~5.2	1~3mg(適宜増減) ・最大3mgまで、高齢者は最大2mgまで
			向	トリアゾラム	ハルシオン	Halcion 0.25mg Alexand	1.2	2.9	0.125~0.5mg (適宜増減) ・最大0.5mgまで、高齢者は最大0.25mgまで ・少量(0.125mg以下)から投与開始
		短時間作用型	向	ブロチゾラム	レンドルミン	Lendownin Lendownin D Lendownin D Lendownin L Landownin L Landowni	1.0~1.5	7	0.25mg(適宜增減)
ンゾジア				リルマザホン	リスミー	E - リスモ - ソスモ - リスモ - リスモ - リスモ - リスモ - リス - リス - リ	3*	10.5 <sup>*</sup>	1~2mg(適宜増減) ・高齢者は最大2mgまで
ゼピン			向	ロルメタゼパム	ロラメット	1.0mg 1.0mg A4929 A4229 CF CF	1~2	10	1mg~2mg(適宜増減) ・高齢者は最大2mgまで
受容体作			向	エスタゾラム	ユーロジン	**************************************	1.7~4.9	24~29.5	1~4mg(適宜增減)
動薬		中時間作用型	向	フルニトラゼパム	サイレース	911-72 -	0.8	21.2	0.5~2mg(適宜増減) ・高齢者は最大1mgまで
			向	ニトラゼパム	ベンザリンネルボン	איי פרגעים איי איי איי איי איי איי איי איי איי א	1.6	27.1	5~10mg(適宜増減)
		長時間作用型	向	クアゼバム	ドラール	F3-H-8115 F3-H-8115 F3- H-8115 F3-H-8115 F3- 5-H-8120 F3-H-8120 F3-H-8120 F 5) (15) (15) (20) (20) (2	3.4 <sup>*</sup> , 12 <sup>*</sup>	38 <sup>*</sup> , 107 <sup>*</sup>	<b>20mg(適宜増減)</b> ・最大30mgまで ・少量から投与開始
			向	フルラゼパム	ダルメート	タルメート15 タルメート15 (-ト15 タルメート15 タルメー	1~8*	14.5~42 <sup>*</sup>	10~30mg(適宜増減)
			向	ハロキサゾラム	כעאע	עלעצע 5mg עיצע פעיצע פעיצע פעיצע פעיצע פעיצע ארע פעיצע פעיצע פעיצע פעיצע ארע פעיצע פעיצע ארע ארע ארע ארע ארע ארע ארע ארע ארע אר	2~8*	42~123 <sup>*</sup>	5~10mg(適宜增減)
	ルビ ·ル酸 :眠薬	短時間作用型	向	ペントバルビタール	ラボナ	7 8 4 50 4 7 8 6 50 50 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1	15~48	50~100mg(適宜増減)
ツー		中時間作用型	向	アモバルビタール	イソミタール		データなし	21	0.1~0.3g(適宜增減)
		長時間作用型	向	フェノバルビタール	フェノバール	7± MF-M. Pinnobal 30mg 30mg 7± MF-M30 (53) (F3) 7± MF-M30	1~2.4	94.5~131	30~200mg(適宜増減)
	キシン 容体 抗薬			スポレキサント	ベルソムラ	Anyasia. Anyasia. Asii. Anyasii. Anyasia.			20mg(高齢者には15mg) ・CYP3A4阻害薬併用時には10mgに減量考慮
				レンボレキサント	デエビゴ	FIEJ 25 FIEJ 5 FIEJ 10			5mg(適宜増減)、最大10mgまで ・中等度肝機能障害では最大5mgまで ・CYP3A4阻害薬併用時には2.5mgに減量
製	トニン  剤			ラメルテオン	ロゼレム	# 157 # 157 # 157 # 157 # 0014.8-, OULLS-,			8mg
受	トニン 学体 効薬			メラトニン	メラトベル				★適応は小児のみ★ 1mg(適宜増減)、最大4mgまで
2.4	D他			トリクロホスナトリウム	トリクロリール		1*	8.2*	10~20mL (小児は適宜減量) ・0.2~0.8mL/kgを標準とし、最大20mLまで
				抱水クロラール	エスクレ注腸用キットエスクレ坐剤	### 1774/18 1774	0.7*	11.8*	<b>30~50mg/kg(小児)</b> 最大1.5gまで

## 抗不安薬一覧(内服·外用)

★適応症や用法・用量など最終確認は添付文書でお願いします★

愛媛大学医学部附属病院 薬剤部 薬品情報管理室

院内外採用 (一般名が採用となっているものは、後発品を採用中です。)

最高血中濃度到達時間、血中濃度半減期は、各添付文書・IFの記載を参考にしておりますが、年齢や体格、 肝・腎機能、併用薬等により大きく変動する場合があります。また、臨床効果と必ずしも相関しないことがあります。

分類	作用型	向精神薬	一般名	商品名	先発品の製剤写真の例	最高血中濃度 到達時間の目安 (hr) ※は活性代謝物を示す	血中濃度 半減期の目安 (hr) ※は活性代謝物を示す	心身症などにおける不安等の症状に 用いる際の用法用量
	短時間作用型	向	クロチアゼパム	リーゼ	Sing U-t'ong U- years vazz  years vazz  years ovez  ye	0.8~0.9	5.8~6.3	15~30mgを1日3回に分けて投与
		向	エチゾラム	デパス	#15.127:0; #12.10. (Zasas #12.05) #712.1m #712.1m 10; 15: vorus vc vc vorus vc	3.3	6.3	1.5~3mgを1日3回に分けて投与(適宜増減) ・高齢者は最大1.5mgまで ・睡眠障害に用いる際は1~3mgを就寝前に1回
			フルタゾラム	コレミナール	SWCOM SWCOM	1	3.5	12mgを1日3回に分けて投与(適宜増減)
	中時間作用型	向	アルプラゾラム	ソラナックス コンスタン	Solanax 0.4mg	1.8~2.1	14	1.2mgを1日3回に分けて投与(適宜増減) ・最大2.4mgまで(3~4回に分けて投与) ・高齢者は1回0.4mgの1日1~2回投与から開始 し、最大1.2mgまで
		向	ロラゼパム	ワイパックス	Wypax*0.5	2	12	1~3mgを1日2~3回に分けて投与 (適宜増減)
ベン		向	ブロマゼパム	レキソタン	L+997 1 L+997 1 L+997 2 L+997 5 L+997 1 L+997 1 L+997 1 L+997 2 L+997 5 L+997 5 Tell Cost    or	1~1.5	20	3~15mgを1日2~3回に分けて投与 (適宜増減)
<b>ン</b> ゾ ジ ア ゼ		向	ジアゼパム	セルシン ホリゾン	#10 2 **SEB 2 SPEEDS 1 10PEEDS 2	0.9~1.3	93 <sup>*</sup>	(成人)1回2~5mgを1日2~4回投与 ・外来患者は原則1日15mgまで (3歳以下)1~5mgを1日1~3回に分けて投与 (4~12歳)2~10mgを1日1~3回に分けて投与
ピ ン 受		向	フルジアゼパム	エリスパン	2000 2000 2000 2000	1	23 (生物学的半減期)	0.75mgを1日3回に分けて投与(適宜増減)
容 体 作 動		向	クロキサゾラム	セパゾン	セハンコ せハンコ 2 セハンコ せいひ せいひ F NF 125 176	2~4*	11~21 (生物学的半減期)	3~12mgを1日3回に分けて投与(適宜増減)
薬	長時間	向	クロルジアゼポキシド	コントール バランス	45-F-18 (PRE) 1-12-12 (19-2) 7-16-18	3	11~24	(成人)20~60mgを1日2~3回に分けて投与 (小児)10~20mgを1日2~4回に分けて投与 (成人・小児ともに適宜増減)
	作用型	向	メタゼパム	レスミット	② レスミット 2mg レスミット 5mg レスミット レスコット レスコット レスコット レスコット レスコット レスコット マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マ	データなし	51~120 <sup>*</sup>	1日10~30mgを投与(適宜増減)
			メキサゾラム	メレックス	スピックス 0.5 mg スピックス 0.5 mg スピッレス スピッレス スピッレス スピッレス 132 130 150 0.5 mg 1 mg 1 mg	1~2*	60~150 <sup>*</sup>	1.5~3mgを1日3回に分けて投与(適宜増減) ・高齢者は最大1.5mgまで
		向	オキサゾラム	セレナール	セレナール 5 セレナール セレナール ロナール 107 5mg 5mg 106 107	8.2 <sup>*</sup>	56*	<u>1回</u> 10~20mgを1日3回投与(適宜増減)
		向	クロラゼブ酸	メンドン	ASPS TSing ASPS MYCHTYZ  TSING	0.5~1*	データなし	2〜4カプセルを1日2〜4回に分けて投与 (適宜増減)
	超長時間作用型	向	ロフラゼブ酸	メイラックス	**(597) **(597) ** **Ing Img Img Img Img **(597) ** **(	0.8*	122 <sup>*</sup>	2mgを1日1~2回に分けて投与(適宜増減)
セロトニン 1A 部分作動薬			タンドスピロン	セディール	### ##################################	0.8~1.4	1.0~1.4	<b>30mgを1日3回に分けて投与(適宜増減)</b> ・最大60mgまで

参考文献:各種添付文書・IF、今日の治療薬2022 (南江堂) 睡眠薬・抗不安薬の分類は今日の治療薬分類を参考